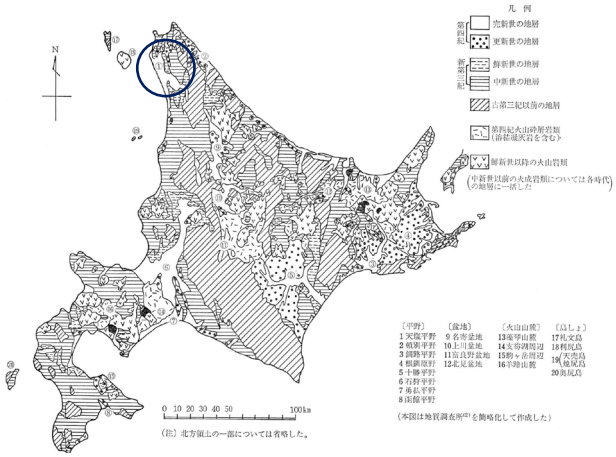
1.天塩平野

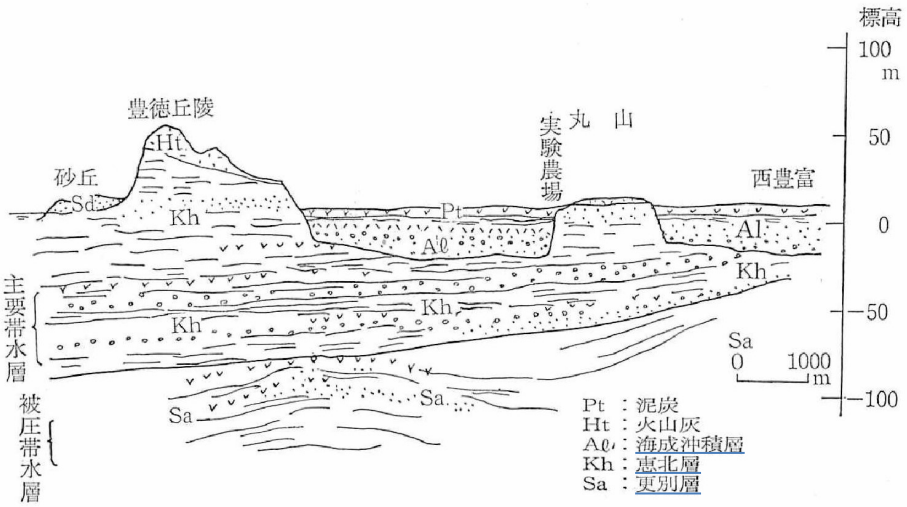


地形・地質

北海道の最北端に位置する天塩平野は，サロベツ原野の名で呼ばれており，そこに２万 ha にわたる泥炭湿地が広がっています。現在の天塩川は，サロベツ原野の南端をかすめて，天塩町付近で日本海に注いでいます。

地下水

サロベツ原野の地下水盆は南に閉じる三角形の形で，北と東は不透水性基盤の山地に接し、西は日本海に面しています。サロベツ原野に分布する帯水層※は，深い層から，更別居，恵北層，および沖積層となっています。



サロベツ原野水文地質断面図（※下線は帯水層）

サロベツ原野周辺水文地質図（※下線は帯水層）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）